

■山本作兵衛 炭鉱労働者、炭坑記録画家。閉山進むなか、炭坑画を描き続け、日本で初めてユネスコ記憶遺産に登録された。

やまもとさくべい

大本教・・・1892＝

“筑豊”の名が定着してまもない福岡県嘉麻郡笠松村鶴三緒で、石炭を輸送する川舟の船頭をしていた山本福太郎の次男に生まれる。母シナ。

郡司千島探検1893＝1歳：誕生前年に開通した筑豊興業鉄道が九州鉄道と接続して、門司港まで石炭輸送されるようになり、

日清戦争始・・・1894＝2歳：日清戦争の軍需景気で、筑豊の炭鉱が勢いついてくるも、父は川舟を廃業して失業状態、

子規句歌革新1898＝6歳：入学した立岩尋常小学校に入学、

Bushidou・・・1899＝7歳：かつて稼いだ金も食い潰しになったことから、豊国炭坑で起きたガス爆発が全国を震撼させた年、一家で麻生太吉の上三緒炭坑に移住し炭鉱夫に転職、4つ上の兄とともに、父の仕事を手伝うようになる。先生の目を盗んで描くほど、絵が好きで上手く、この頃の水彩画「麻生上三緒炭坑」「同瓦斯爆発」が残っている。

ピアノ国産化・・・1900＝8歳：誕生した弟春吾の初節句祝いで贈られた加藤清正の土人形を気に入って何度も写生、絵に没頭し始め、

田中正造直訴1901＝9歳：

この間、転々と炭坑が変わるも、祖父兵市が維新直後の目明しだったこともあって厚遇され、坑夫(女も)に対する見せしめの刑罰を面白がって見たりしながら、西洋紙に描いた\_源平合戦などの絵本を作り、近所の子どもに売って新しい紙を買わなければならないほど家は貧しく、満足に通えないまま、

日比谷公園・・・1903＝11歳：上三緒に戻った年、弟春吾が死去、継ぐように誕生した弟倉之助の子守り役。5年かかって\_卒業。親に泣いてせがみ、図画の時間がある飯塚高等小学校に進み、先生に褒められるも束の間、授業料が払えず中退、

日露戦争始・・・1904＝12歳：麻生太吉の山内炭坑の鶴嘴鍛冶に弟子入りして、炭坑の鍛冶工になり、

日露戦争終・・・1905＝13歳：日清戦争後沈んでいた炭坑が日露戦争で息を吹き返すなか、

満鉄発足・・・1906＝14歳：祖父兵市が死去。家計を救うべく、父兄の後山として\_山内炭坑の炭鉱員として、仕事を終えると、丸山平次郎の速記による講談本に取りつかれ、毎日のように想像で絵を描く。

伊藤博文暗殺1909＝17歳：一時期福岡市内のペンキ屋に弟子入り、独り立ちするも腰を据える炭坑は無く、山内炭坑の先山になり、

韓国併合・・・1910＝18歳：

中納屋を仕切るようになった父兄に従い、

大連事件判決1911＝19歳：\_上三緒に戻る。後に、心血を注ぐ絵のテーマは、ほとんどこの時までのもの。

明治天皇没・・・1912＝20歳：徴兵検査は難聴で乙種免除となった。知人の世話で、\_九州鉄道管理局小倉工場の鍛冶工見習いとなり、小学校の勉学を補うかのように、漢和辞典を借りて、余暇を惜しんで文字を猛勉強するが、

21ヶ条要求・・・1915＝23歳：稼ぎがあまりに少なく、身体も壊して辞めてしまい、酒びりになる。

民本主義・・・1916＝24歳：一家で炭坑に来るもヤマを嫌って農家に奉公していた水町タツノと\_結婚し、麻生赤坂炭坑の機械鍛冶工として独立、坑内採炭夫より稼ぎは少なくともより安全と、以後、機械鍛冶工一筋、

ロシア革命・・・1917＝25歳：\_上三緒に戻り、

本格政党内閣1918＝26歳：山内炭坑では、マイトの爆発事故を経験、親友だった火薬主任を失う。

ベルサイユ条約・・・1919＝27歳：長女ハル子が誕生。第一次世界大戦で未曾有の石炭ブームとなり、坑夫一家にも余録があるも、

原敬首相暗殺1921＝29歳：一転戦後恐慌。\_八幡製鉄二瀬中央坑に移り、巻き上げロープ先端の炭車連結用金具の製作に妙技を発揮、

水平社結成・・・1922＝30歳：長男光が誕生。嘉穂郡内の各坑を転々とした後、八幡製鉄二瀬稲築坑と呼ばれるも、

護憲三派圧勝1924＝32歳：次男大吾が誕生。稼ぎは酒代に消えて家計は逼迫、

治安維持法・・・1925＝33歳：\_常雇いになり感激、

共産党事件・・・1928＝36歳：初の普通選挙、炭坑地帯は無産党一色、

海軍軍縮条約1930＝38歳：三女富美が誕生。戦後不況以降各炭坑が省力化を進めて来たこともあって大量解雇が相次ぐ。

満州事変・・・1931＝39歳：直方市が誕生。母シナが死去。稲築炭坑でも争議、女性中心に大量解雇されるなか首はつながら。

五一五事件・・・1932＝40歳：飯塚市が誕生。体調悪く神社参りが多くなり、炭坑景気が回復するも家計は厳しい。

帝人疑獄事件1934＝42歳：兄五郎の家で、父福太郎が死去。福岡での、第15回日本国民禁酒同盟大会に参加。

芥川直木賞始1935＝43歳：三男照雄が誕生。\_安全班長として参加した安全週間のポスターが一等賞、以後3年連続して一等賞。

日中戦争始・・・1937＝45歳：坑夫の出征が多くなり、女性の入坑復活。支那事変突発後の日記は戦争関係一色。

大政翼賛会・・・1940＝48歳：\_増炭続くなか、水没した日登炭坑から頼まれ、初めて嘉穂郡の隣田川郡に出、最後の炭坑になる。

日米開戦・・・1941＝49歳：長男光は徴用令で佐世保の海軍工廠の工員になり、

創価学会検挙1943＝51歳：長男光が佐世保第一海兵に、次男大吾も第二海兵に入団、以後、軍艦で出兵するうち、

敗戦・・・1945＝53歳：次男大吾は帰還したが、\_重巡洋艦{羽黒}の撃沈とともに、長男光が戦死したのを、

新憲法公布・・・1946＝54歳：\_公報で知らされる。炭坑で労働運動が盛んになるなか、なお、日登炭坑の採炭係を続けるうち、

極東裁判決・・・1948＝56歳：兄五郎が死去。

独立回復・・・1951＝59歳：

メデー事件・・・1952＝60歳：

{新九州新聞}の記事で、{羽黒}の最期を知るも、長男光のことは全く分からない。\_戦死した長男のことを思い出さないよう、また、炭鉱の記憶を遺そうと、採炭員や鍛冶工員として筑豊地方各地の炭鉱18ヶ所を転々としながら、日記や手帳にその記録を残してきたものをもとに、仕事が終わると、非番の深夜の坑内詰所で、身の回りのヤマの出来事を原稿用紙に書き綴り始めるが、

自衛隊発足・・・1954＝62歳：妻子の反対、おそらくは同僚からの中傷で、\_書き溜めた全部を焼却してしまい、

55年体制始・・・1955＝63歳：\_長尾位登炭鉱の閉山で解雇になるとともに、

なべ底不況・・・1957＝65歳：福岡県田川市弓削田にあった長尾炭鉱の宿直警備員として働き始め、\*\_子や孫にヤマ(炭鉱)の生活や人情を残したいと、日記や手帳の記録、自らの経験や伝聞をもとに、初めて絵筆を握り、絵を描き始め、

インスタント・・・1958＝66歳：やがて、\_墨絵で描くようになる。

安保闘争・・・1960＝68歳：

タイタイ病始・・・1961＝69歳：

\_この年までに描いた絵はスケッチブック15冊分、延べ220枚に達していた。これらの絵の余白に説明を書き加える手法で描かれた記録画が、長尾鉱業所会長の長尾達生の目に留まり、

全国総合計画1962＝70歳：\_田川市立図書館館長代理の永末十四雄が山本作兵衛と記録画のことを知って、資料の筆写を始め、閉山ラッシュが続いていた筑豊炭田の中小炭鉱の手で出版の計画が立てられ、

TV宇宙中継始1963＝71歳：位登から弓削田に転居、以後、落ち着いた晩年を送る終の棲家になる。\_記録画の半分弱を収録した「明治・大正炭坑絵巻」が自費出版され大感激するも、市販されず一部の関係者に配布されただけだったが、

東京リビッパ1964＝72歳：\_自転車バイクに衝突され転倒、頭部出血で記憶喪失に陥り、田川市立病院で切開手術、九死に一生を得たところ、\_永末から、田川郷土研究会が行っていた「炭坑資料を集める運動」を紹介され、炭鉱の子どもを描いた水彩画を収めたスケッチブックを田川市立図書館に寄贈、記録画の重要性を改めて知った永末から、約300枚の墨絵の資料性を高めるために、大型ケント紙と岩絵具による水彩画の作成を依頼され、その熱意に押されて、2日に1枚のペースで水彩画を描くようになり、

いざなぎ景気1966＝74歳：\_この年未までに描いた約260枚を田川市立図書館に寄贈した。これらの活動を筑豊地方の鞍手町で「追われゆく坑夫たち」の取材を続けていた上野英信の知る所となり、

美濃部都知事1967＝75歳：\_勲六等瑞宝章。\*NHK教育で特別番組{ある人生 - ボタ山よ}が放送されたほか、この年刊行された上野の著書「追われゆく坑夫たち」の挿絵に水彩画が採用された。番組を見ていた講談社の編集者の手で、「炭鉱(ヤマ)に生きる 地の底の人生記録画文集」が刊行されて、全国に知られる。さらに、永末と上野、木村栄文が墨絵を含めた本格的な画集の刊行を企画、

震ヶ関ビル・・・1968＝76歳：\_筑豊の炭坑閉山が続くなか、民放テレビでも放映されて、時の人に。以後「ヤマの絵師」として知られるようになり、個人的な制作依頼が増え、これらを含めた作品は1,000点以上とされている。

ドルショック・・・1971＝79歳：佐世保の海軍墓地に完成した「軍艦羽黒戦没者慰霊碑」の除幕式に出席。

石油ショック1973＝81歳：

クアランプール事件1975＝83歳：田川市文化功労者。筑豊最後の貝島大之浦炭坑が閉山になった年、\_墨絵や水彩画を収録した集大成となる豪華本「筑豊炭鉱絵巻 山本作兵衛画文」が刊行された。

JALハイゼック・・・1977＝85歳：弓削田の職員住宅の建物と土地を購入、初めて自己所有の家になった。「ヤマの仕事(上下)」を出版。\_西日本新聞社から西日本文化賞を贈られるも、最後まで、\_自分の絵は美術でなく記録に拘り続け、

・・・1981＝89歳：山本作兵衛炭坑画集「王国と闇」が出版され、朝日新聞{天声人語}でも紹介。福岡県教育文化功労者表彰。

・・・1984＝92歳：酒を飲み続けて、老衰のため\_没した。

記録画は、海外の専門家らから高く評価され、2011年、日本初のユネスコ記憶遺産になった。